



食の業界にイノベーションを起こし、地域の人々に感動を提供する「食の総合プロデューサー」

日本で最も元気なスーパーマーケットと称され、広島県・岡山市・香川県に展開する「エブリイ」。そこには、創業者である岡崎雅廣氏の地域におけるただならぬ想いが詰まっています。岡崎社長は岡山県岡山市のご出身で、関西学院大学を卒業後、阪急百貨店にお勤めになりますが、その後、御祖父の会社に合流し、広島県福山市に移住されました。倉敷市にエブリイ1号店がオープンしたのは平成元年、まさに新時代を迎えた年に、スーパーマーケット事業に着手されました。そして急激に変化する社会情勢の中、あらゆる価値が多様化し、時代と社会が求めるニーズにスピーディに対応するため、平成26年にホールディングス体制が整います。スーパーマーケット事業では「時流×自流」で業界の枠を超え、地元でご利用頂くお客様に「感動」していただけるスーパーを目指してきました。外食事業では、限りある資源を無駄にしたくないという想いから「食材」を「食財」に変えるプロジェクトによる独創的な店舗展開をしています。さらに、地域の高齢化に対応するため、従来の販売スタイルから脱却し、店舗とオンラインショップを融合させた新しい買い物スタイルを構築するなど、時代の変化に応じ新しいビジネスモデルに次々と挑戦されてきました。それが、食の業界にイノベーションを起こす「食の総合プロデューサー」業を表明されている形となっているのです。

私は何度か岡崎雅廣社長にお会いする機会があ

りましたが、真に大切にしていらっしゃったのは「人との縁」「仲間との連携」「社員一人ひとりの成長を願う人財育成」という「人」に係わることだったと思います。そのことが、ビジネスの成長、地域活性化に大きく繋がっていると確信しています。

偉大なる経営者が次の時代に継承していくもの

平成31年2月1日、令和まであと3カ月という日、突然の訃報を聞くことになりました。誠に誠に残念で耳を疑いましたが、エブリイホームイホールディングス岡崎雅廣社長が69歳でご逝去されました。平成の30年間で業界や地域に多大なる貢献をされた偉大な経営者。岡崎社長は経営者として数多くの詞を残していられたいと思います。

その一つ、経営者として残さなれない「人」の「事業」であり「お金」であり、最も「人」である、この言葉を胸に刻んで生きたいと思っています。まだまだ逝ってしまったのは早すぎ、本当に多くの方が惜しんでいます。新時代は3人のご息が立派に引き継がれていくことでしょうか。既に3人もグループの会社のトップをつとめており、ホールディングスはご長男の浩樹氏がお父様の事業と意志を発展させていくことでしょうか。

人との縁に支えられ、感謝の想いをカタチにしてこられた岡崎雅廣社長に、心からの畏敬の念と追悼の意を込めて、お別れのことばとさせていただきます。

地方創生は「平成」から「令和」へ受け継がれていくもの

地方創生にかかわる中小企業の役割



Human Delight株式会社 代表取締役社長
野田 万起子のたまきこ

静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロー株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

平成31年4月1日、新元号「令和」と発表されました。いよいよ、30年の平成の歴史を閉じ、令和元年のスタートとなります。地方創生元年は平成27年、考えますと新しい時代に向けた準備期間であったように思います。本年1月号に地方創生の行方について触れましたが、これまでに地方創生大臣は石破氏から4人目に代わり方針が薄れてきてしまったように感じます。国策如何に関わらず、地域経済に多大な貢献をし、地方創生を担っている企業は沢山あります。今号は、その一つの企業にスポットを当てたいと思います。

広島県福山市に本社をおく株式会社エブリイホームイホールディングスの功績

株式会社エブリイホームイホールディングスは広島県福山市に本社を置き、現在、グループ会社11社、グループ年商1000億、地元で約4000人の雇用を創出しています。地域の「食」を豊かに支えることをミッションとした、「食の総合プロデューサー」業です。具体的には、スーパーマーケット・外食材料宅配事業・外食給食事業・農業法人・障がい者就労支援事業、教育事業などを手掛け、「食」を通じて地域の人々の生活を豊かにし、地域の活性化に多大な貢献をしてきました。ホールディングスの設立は、2014年になりましたが、その前身は平成元年、株式会社エブリイ設立、倉敷市にオープンしたスーパーマーケット1号店「エブリイ玉島店」に遡ります。その後、数多くの苦難を乗り越え、まさに平成の30年間に地域の「食」を支える企業体として地域と共に成長してきました。